

12～1月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

146,373円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	18,056円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	26,961円
通信費(携帯電話、郵送代、折込代)	101,356円
支出計 17/12/1～18/1/31	146,373円

寄付 Kさん 5,000円

市政を考える 月刊武松

発行日
18/2/1

第170号

15300部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

南足柄市との合併は見送り

南足柄市加藤市長が「合併すべきではないと判断した。」と答弁

私は、南足柄市との合併には反対だったので、法定協議会が設置される前に、南足柄市長が合併すべきではないと判断したこと、南足柄市議会が、合併の賛否を問う住民投票条例の修正案を否決したことに、とても安堵しています。今回は南足柄市議会一般質問・答弁の概要と住民投票条例等の結果と小田原市の状況について説明します。

■南足柄市議会滝本議員の一般質問と市長答弁概要 Q 滝本議員

・任意協議会、市民説明会、アンケート等が終了したが、市民は心配している。このような中、市長の合併の是非についての考えを伺いたい。

A 市長

- ・結論から申しあげる。任意協議会や市民説明会等の結果を冷静に考察し、市長としては合併をするべきではないと判断する。
- ・任意協議会発足当初から、任意協議会は合併を判断する場ではなく、県西地域の連携と強化のために設置されたもの。
- ・任意協議会の目的は合併、中核市移行、広域連携の3つの手法から、その目的の達成のためメリット、デメリットを洗い出すこと。
- ・決して合併ありきではない。
- ・合併の効果が150億円となったが、これは歳出削減であり主に人件費の削減であった。歳入を増やすという方策は示されなかった。
- ・中核市や広域連携の議論は先送りされ、その成果は示すこともできなかった。
- ・これらを度外視しての合併の正当性は見いだせない。
- ・県西地域特に足柄上郡1市5町の影響は大きい。
- ・大義や合理性は見いだせない。
- ・今までの経緯を真摯に受け止め市長としては、合併はすべきではない。南足柄に必要なことは市民の結束と安定、落ち着きである。
- ・しかしながら、小田原市とは更なる連携を未来志向で図っていききたい。

Q 滝本議員

- ・合併はしないということです。市民は安堵したと思われる。合併に賛成の方も市長の答弁をかみしめてもらいたい。
- ・今後どのようなことが想定されるのか。

A 市長

- ・小田原市長へは事前に連絡をし、礼を尽くした。今後は、対等でお互い尊重し、より良い相乗効果が図れるよう広域連携に努めたい。

■南足柄市議会 住民投票条例の修正案を否決

12/13の南足柄市議会本会議で、議員提出議案「南足柄市が小田原市と合併することの賛否を問う住民投票条例案」の修正案が否決され、原案が可決されました。

否決された修正案は、150日以内に無条件で住民投票を実施することを求める内容でした。

可決された原案は、市長が法定合併協議会を設置しようとする前に住民投票実施を求めており、南足柄市長は合併すべきではないと表明していることから、**事実上法定協議会は設置されず、住民投票も行われないこととなりました。**

■小田原市議会一般質問の加藤憲一市長答弁

12/15の一般質問で、南足柄市の加藤修平市長が合併すべきではないと判断したことに対し、「極めて残念。理由として挙げられた事柄については理解に苦しむ点も多い」「当面は南足柄市との間で、これ以上、合併に関する協議を進めることはない」と答弁。

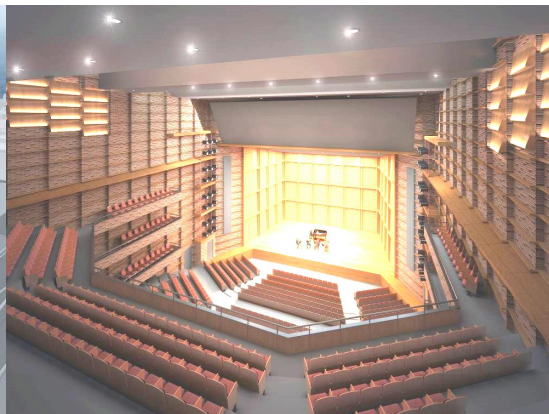
両市長は合併見送りを表明！

■中核市移行の是非は30年度施政方針で表明

1/15の県西地域の中心市のあり方に関する調査特別委員会で副市長は、施行時特例市である小田原市が人口20万人未満でも中核市になることができる期限が平成32年3月末に迫っているため、**30年度施政方針で中核市移行の是非を表明すると答弁。**

市民ホール事業者選定

2次審査で、優先交渉権者として鹿島建設・環境デザイン研究所共同企業体を選定。



▲大ホール（1116席）
◀市民ホール全景

お城通り再開発事業

基本設計まとまる。（万葉倶楽部株式会社）
和風低層棟：4階 ホテル和室、1～3階 商業機能



高層棟：
14階 レストラン
展望広場
10～13階
ホテル客室
9階 業務機能
7・8階
医療施設
6階
図書館・子育て支援
多目的室（会議室）
5階 業務機能
4階 ホテルフロント・
コンベンションホール
3階 商業・業務機能
1・2階
観光バス乗降場
地下1階
駐車場 80台

武松政策研究会からのお知らせ

2月の武松忠議会報告会、
3月の月刊武松発行・配布は、
都合により中止します。



HPは、「たけまつただし」で検索！ 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

twitter：@ttakemat

facebook：https://www.facebook.com/tadashi.takematsu

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 国府津支店 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで

月刊武松 第170号 武松政策研究会 討議資料